

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月22日更新

事務事業名		国県道等整備負担事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5 都市基盤の健康				所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施策	24 計画的な道路の整備				所属課	建設課	担当者名	福岡 綾
	施策の柱	66 計画的な道路の整備				所属班	維持管理班	(内線)	5254
予算科目	会計一般	款 8	項 2	目 3	事業連番 10056	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県道整備に対する市町村負担金支払い事務 ・国・県道は市町村内の住民の主要な生活道路となるが、県では地元住民の要望が聞こえにくいことから、地元住民と密に接している市町村より地元の声を聞きその要望に応えようというものである
【業務の流れ】	県への要望箇所の調査・取りまとめ、協議、県より負担金の納入依頼、支払い
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	住民からは要望に対する進捗状況の問い合わせや、早期対応を求めた意見が寄せられている

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	県への要望箇所(国・県道、河川等)を調査し取りまとめ、協議を行った。また、県が施工する国県道等の整備に伴う地元負担金を適正に処理した。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 県への要望箇所(国道、県道、河川等)の調査・取りまとめ、協議を行う。県に負担金を支払う
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 本	予算の主な増減の理由 県の整備事業費増に伴う負担金の増
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国・県道・河川	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 本
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	国道及び県道の改良及び維持を行うため一部負担を行ない道路の保全を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 本
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
未着手箇所についても、早期に着手できるように要望を行っていく		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	ア 本		6	10	10	10	10	10	10	10	
	イ										
② 対象指標	ア 本		32	27	30	33	30	30	30	30	
	イ										
③ 成果指標	ア 本		3	2	6	2	6	6	6	6	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	5,500							
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	27,943	750	450	450	1,200	900	450	450
		(A) 事業費計	千円	33,443	750	450	450	1,200	900	450	450
		(A)のうち指定経費	千円	33,443	750	450	450	1,200	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	5	6	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	630	780	630	1,080	630	630	630	630		
(B) 人件費計	千円	2,496	3,075	2,509	4,222	2,509	2,509	2,509	2,509		
トータルコスト(A)+(B)	千円	35,939	3,825	2,959	4,672	3,709	3,409	2,959	2,959		

事務事業名	国県道等整備負担事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 合志市から県への要望箇所（国道、県道、河川等）を取りまとめ、協議を行った
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ・国道、県道において安全に通行できるように早期着手の要望を行っていく ・災害から市民の生命、財産を守ることを目的に河川、急傾斜地の早期整備の要望を行っていく
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 県及び市の予算との兼ね合い、また年間事業数には限界があるため向上余地はない
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 県からの工事施工負担金という観点から削減余地はない
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在のやり方が適切である
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全ての道路利用者に公平・公正である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国、県道、河川の改良、維持事業に伴う負担金支払い事務のため移行できない

3 評価結果の総括 (CHECK)

<ul style="list-style-type: none"> ・国・県道整備に関する要望は頻繁にあるが、県としては年1回（9月ごろ）の単県要望時に出して欲しい旨の回答をしていく ・危険を伴う緊急性を必要とする事案も多く、県と連携を密にしながらか対応していくことが重要である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						